

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	水道部
部(局)長名	岡本 武

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 3 基幹管路や配水池の耐震化をはじめとした災害対策の強化

全体の達成度

B

一部達成

目指すべき方向	災害時や事故時においても、出来る限り断水することなく安定した給水が図れるよう施設整備を進めるとともに、災害時給水所等の整備を図ります。
---------	---

活動目標
基幹管路や配水池の耐震化を計画的に実施します。
吹田操車場跡地に設置した耐震性緊急貯水槽の周辺整備を実施し災害時給水拠点としての運用を開始するとともに、災害時給水所の整備として小学校区への可搬式浄水装置の配備を進めます。

具体的な取組実績
樫の木・万博系及び万博・山田系の送水管を中心に総延長約2kmの基幹管路の耐震化を実施しました。また、津雲配水場第2配水池の耐震化等改修が完了しました。
北大阪健康医療都市（吹田操車場跡地）に設置した耐震性緊急貯水槽は、必要な資機材を確保し、通水を開始しました。災害時給水所の整備については、教育委員会、危機管理室等への調整項目の整理に時間がかかっており、配備が進められませんでした。

達成目標
基幹管路整備を約2.9km実施し、平成27年度末基幹管路耐震化率 39% を目指します。
平成27年度末の給水拠点密度 27% を目指します。

達成状況	達成度
他企業等との調整が必要な一部の工事を次年度に実施することとしましたが、約2kmの耐震化を実施したことにより耐震化率は約38%となる見込みです。	B 一部達成
概ね1km以内の距離で応急給水が可能となる災害時給水所を整備するため、可搬式浄水装置や仮設貯水槽を小学校12校に順次配備する予定でしたが、教育委員会、危機管理室等への調整項目の整理に時間を要したため、実配備は次年度以降となり、給水拠点密度は19.4%のままとなりました。	C 未達成

総合評価・総括

基幹管路の耐震化については、一部の工事を平成29年度に実施することとしたものの、これまではおおむね予定どおり進捗しています。また、平成26年度に設置しました耐震性緊急貯水槽は、周辺の配水管整備も完了し、市内9か所目の災害時給水拠点として非常時の運用が可能となりました。配水池の耐震化については津雲配水場第2配水池の耐震化が完了したことにより、将来的な更新を見据えて検討を進めている片山浄水所第2・第3配水池を除くすべての配水池の耐震化を終えました。（配水池耐震化率 90.3%）

災害時給水所の整備については、可搬式浄水装置や仮設貯水槽の実配備には至りませんでした。平成28年度には教育委員会、危機管理室等に協力を要請し、小学校への配備を進めていきます。